



越谷市議会議員

福田 あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2020年秋号 No. 38

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
 TEL/ FAX 048-978-3335
 Mail info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

コロナ禍における越谷市の備えを拡充せよ

9月定例議会 決算特別委員会より

越谷市の借入金を経年(10年間)でチェック

9月定例議会では、決算特別委員会のメンバーとなり、私は副委員長を拝命しました。決算特別委員会では数多くの質疑が行われ、そして本会議では令和元年度決算が可決されました。(質疑は中面に記載しています)

子ども達に大きな負担を残さないためにも、毎年度の決算では、借入金の推移について注意深く確認しています。平成29年度は小中学校のエアコン設置のため一時的に借入金の額が増えましたが、平成30年度そしてこの度の令和元年度の決算では、順調に減額しています。コロナ禍に突入した令和2年度以降の推移については、まだまだ不透明な部分もあります。そして新庁舎建設などの大きな事業もあり、大幅な減額は難しいかもしれません。そのような環境下だからこそ、必要な事業の実施と借入金のバランスを注視しながらチェックを継続していきたいと思えます。



借入金(地方債残高)推移表

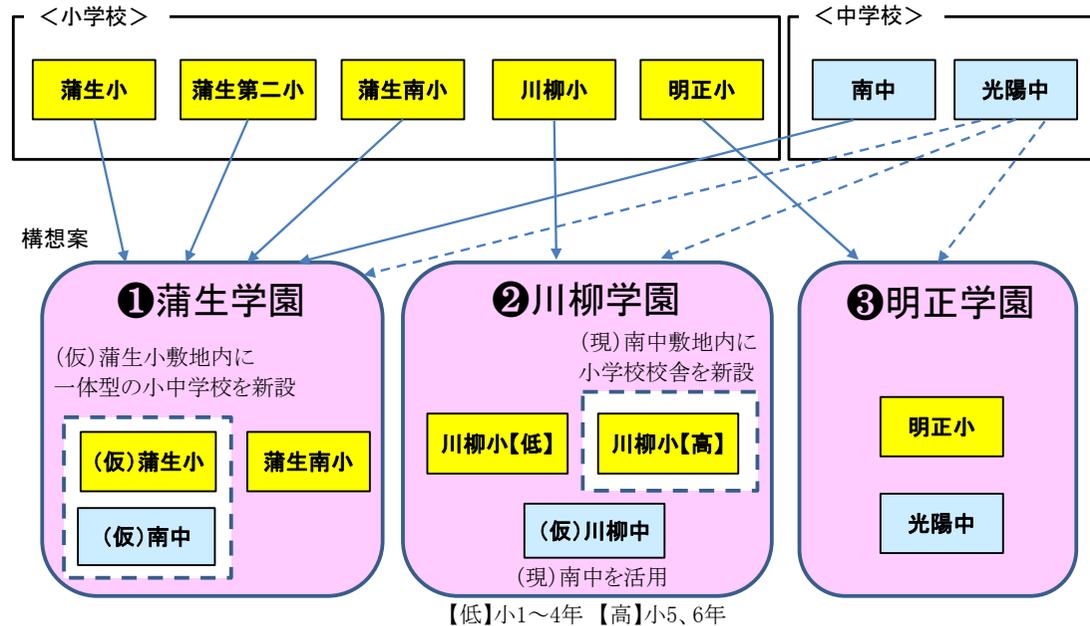
【単位:億円】

項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
一般会計(通常債)	335.3	324.3	314.4	307.4	297.0	281.3	265.5	279.7	260.9	256.1
一般会計(特例債)	336.3	352.3	367.4	380.0	393.4	410.2	421.3	430.9	441.7	445.8
特別会計	561.7	543.7	521.1	495.8	476.2	462.8	446.6	427.1	402.0	377.4
病院事業	46.2	43.8	41.3	38.8	36.1	33.4	30.7	27.8	24.8	21.8
市債合計	1,279.5	1,264.0	1,244.2	1,222.0	1,202.8	1,187.8	1,164.2	1,165.5	1,129.4	1,101.1
市債前年度比較	▲ 33.2	▲ 15.5	▲ 19.8	▲ 22.2	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 23.6	▲ 1.3	▲ 36.0	▲ 28.3

9月定例議会 補正予算より

小中一貫校構想案が提示される

9月定例議会の補正予算にて小中一貫校整備事業(基本計画策定支援業務等委託料)が提示されました。これまで越谷市は、小中一貫教育についての研究を進めてきましたが、蒲生・川柳・明正という地区(地域)を市内初の小中一貫校設立地として選定しました。私は、「①レイクタウン地区への小学校設立可否の確認、②小中一貫校のメリット・デメリットの確認、③課題解消に向けた取り組みの要望、④関係者への十分な説明の要望」など行い賛成いたしました。



福田あきら(45歳)プロフィール

【所属党派】立憲・市民ネット 【常任委員会】民生常任委員会 【その他】東埼玉資源環境組合議会議員

- 1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
- 1982年清浄院幼稚園卒園
- 1988年越谷市立桜井南小学校卒業
- 1991年越谷市立越谷北中学校卒業
- 1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
- 1998年法政大学法学部法律学科卒業
- 2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
→IT企業のサラリーマンとして10年勤務
- 2011年越谷市議会選挙初当選
- 2015年2期目当選 2019年3期目当選
- 資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント 宅地建物取引士/終活カウンセラー(上級)など
- 家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
- サッカー選手としての経歴
- ・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
- ・水戸ホーリーホック(現Jリーグ2部)
- ・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー選手権優勝など三度の日本一を経験
- ・越谷市サッカー協会副会長
- ・越谷市スポーツ少年団本部長



日々情報発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみへの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

空家/空地対策から考える!

【質疑】現在、固定資産税の請求先が不明な、空家/空地の増加が社会的問題になってきているが、越谷市はどのような対応をしているのか? また請求先が不明な件数とその金額は?

【執行部答弁】原則として、登記簿に記載された所有者に課税を行うこととしている。しかし、相続や住所変更等の手続きが速やかに行われていないなどの理由により所有者の住所等が不明確になった場合、納税通知書が送付できないケースがある。その場合、戸籍調査や住民票の取得等により、相続人の調査、実地調査を行うことにより納税義務者の把握に努めている。また、固定資産税については、連帯納税義務があるため、相続人全てがわからなくても、納税を管理していただける人が1人でも把握できればお願いできるが、探索した相続人が相続放棄をしてしまうこともあり、さらに調査が必要になり多大な時間を要することがある。そして令和元年度末の課税保留件数は45件、税額にして約220万円である。



成年後見制度について

【質疑】成年後見事業の委託内容は? また中核機関の設置についての考え方は?

【執行部答弁】成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障害などにより、判断力が不十分な方の預貯金の管理、財産管理や日常生活での様々な契約、身上保護をしていく制度である。成年後見事業委託料は、成年後見制度について、身近なものとして活用されるよう制度の普及啓発、利用に関する相談、手続き支援等の利用援助、さらに身近な後見人といわれている市民後見人候補者の養成、就任支援、活動支援を行う市民後見人養成事業を合わせて、社会福祉協議会に委託しているものである。

総合的な成年後見事業の権利擁護体制を構築し、安心して暮らせるまちづくりを目指すため、権利擁護を支援するために関わる人々や団体・企業等の連携ネットワークを作る必要があるが、そのネットワークを管理していく機関が中核機関である。本市では、今現在策定中の総合振興計画や下位計画の障がい者計画等で実現に向けた方策を検討している。

【質疑】越谷市では様々な情報システムをデータセンター(以下DCと称す)内に設置して稼働している。DCといってもセキュリティレベルは様々だが、越谷市のDC選定における考え方は?

【執行部答弁】DCの信頼性を測る基準としては、特定非営利活動法人日本データセンター協会が定める「ティア」という基準項目がある。これはDCの品質、耐震基準や供給される電力経路、自家発電機の電源容量、空調設備、設備運用体制等から評価するもので1~4までの段階があり、数値が大きいほど品質が高くなっている。本市では、事業者のDCを利用する際に、この基準において、最も高い基準であるティア4に相当する品質であることを確認している。(詳細は下記①~⑥)



- ①DCへの電力供給について、2系統以上で受電していること
- ②非常用発電設備を設置し、1台以上の冗長性を持つこと
- ③サーバ室内の空調設備は、電力システムを含め冗長構成であること
- ④防火対策としての、火災検知、検知後ガス消火可能な設備を備えること
- ⑤DC内への入館についてはICカード、生体認証とすること
- ⑥事前に取り決めた運用手順を実行できる24時間365日の有人監視又はそれに代わる体制・システムを有すること

台風への備えは万全か?

【質疑】近年巨大な台風が多発している。その際に水害の被害を出さないためには、市内に設置してある排水ポンプが確実に稼働することが重要だが、その維持管理方法および点検内容は?

【執行部答弁】ポンプ場や排水機場等の治水施設については、災害時の安定した稼働を行うための日頃からの点検が重要と考えている。日常の管理については、主要の34施設を加えた58施設について委託において月一回点検を行い、施設の不具合の有無を報告することとなっている。また、施設で重要な機械設備や自家発電設備などについては、詳細な点検は概ね3年に1度行うこととしている。更に、現在、日頃から職員のスキルアップと施設点検も兼ねたパトロールを行っており、245カ所について週一回の確認作業の実施し、その中でポンプの運転確認や水路のスクリーン等のゴミなどの対応を行っている。また、台風等の災害が予想される際やゲリラ豪雨等の前後にスクリーン等の確認なども行い、既存施設の適正な管理による災害時の被害軽減に向け、取り組んでいる。

感染症対策における備蓄品の購入について

【質疑】避難所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策としての備蓄品購入の内容は?

【執行部答弁】避難所での換気や暑さ対策として、巨大扇風機である工場扇、受付職員用のフェイスシールド、ビニール手袋、気泡緩衝材、非常用排便収納袋、自動ラップ式トイレ、屋根付き簡易間仕切りを購入を予定している。



(自動ラップ式トイレ)



(屋根付き簡易間仕切り)



(工場扇)



議会での提案が実現

令和2年6月定例議会の一般質問にて備蓄品としての採用を提案した気泡緩衝材(プチプチ)の購入が決定しました。本提案をした理由は、他の自治体で災害の際に活用されており、①寝ても痛くない(クッション性) ②寒いときには巻いたりすると非常に暖かい(防寒性:寒さをしのげる) ③安価である ④軽く持ち運びに便利 ⑤加工しやすいなどの理由があるからです。



(気泡緩衝材(プチプチ)ロール)

**新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み強化
唾液を用いたPCR検査を実施へ**

【質疑】新型コロナウイルス感染症に係る検査体制強化の取組みは?

【執行部答弁】県の新たな方針(7月28日)では、検査対象の拡大について示されており、濃厚接触ではないが感染リスクが高いと保健所が判断した場合、より多くの方を検査対象として検査することとした。検査は短期間で実施しなければならないため、現行のPCR検査でなく唾液を用いたPCR検査を実施し、さらにより多くの検体を効率よく検査するために民間の検査機関を活用していく。

